



かい りゅう

～ 新しゅんせつ船 海竜 ～

平成23年10月、新しゅんせつ船「海竜」がしゅん功し、更なる東京港の航行安全と発展に寄与していきます。



しゅんせつ船「海竜」

【船主要目】 種類 / 汽船 船質 / 鋼 全長 / 69m 幅 / 14m 深さ / 5.6m
総トン数 / 1,410t 軽荷航行速力 / 12.5ノット
航行区域 / 平水区域
推進用ディーゼル機関 / 800KW×2基 ら旋推進器 2基
泥倉容量 / 747m³

船名の「海竜」は多数の都民や関係者のアンケートによって決定したもので、ドラグアームが海中を力強く泳ぐ「竜」のイメージから「海竜」と命名されました。



東京都港湾局 東京港建設事務所

〒108-0075 東京都港区港南三丁目9番56号

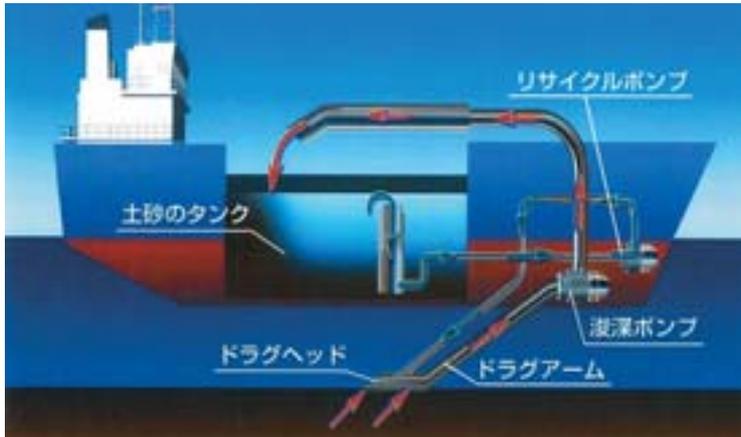
TEL : 03 - 3471 - 0444 FAX : 03 - 3471 - 0727

～東京港の浚渫事業～

今日の東京港は、世界の基幹航路のコンテナ船が多数寄航する国際貿易港として、また、国内海上輸送の拠点港湾として、首都圏 4,000 万人の生活や産業活動を支える重要な役割を担っています。しかし、隅田川や荒川などの河口に位置する東京港は、大量の土砂が流入し、常時堆積しています。東京都港湾局では堆積した土砂を取り除き、船舶航行の安全を確保するために必要不可欠な「浚渫事業」を実施しています。

平成23年10月以降、ドラグサクシオン式しゅんせつ船「海竜」と測量調査船「たんかい」により、安全かつ効率的作業を重視した、新たな「東京港の浚渫事業」を進めています。

しゅんせつ船「海竜」



ドラグサクシオンしゅんせつ方式

「海竜」は、海底に堆積した土砂を航行しながら掃除機で吸込むようにしゅんせつを行う作業船です。しゅんせつした土砂は、自船の泥倉（ホッパ）に入れ処分場へ運搬し、船底を開いて処理します。東京港のように、船舶が錯綜する航路等のしゅんせつ作業を行うのに適しています。

測量調査船「たんかい」



「たんかい」は、東京港内の航路等の深淺測量を定期的実施し、しゅんせつ作業前後の海底の状況（土砂の堆積、海底地形の変化等）を調査します。主な特徴として、マルチビーム測深機を搭載し、海底状況を立体画像に変更した情報を東京港の航行安全や浚渫事業に活用しています。



〈マルチビームによる深淺測量イメージ〉

【船主要目】 種類 / 汽船 船質 / 鋼
 全長 / 14.50m 幅 / 6.2m 深さ / 2.02m
 総トン数 / 32t 航行速力 / 11.8 ノット
 航行区域 / 平水区域
 船用ディーゼル機関 440PS×2基



東京都港湾局 東京港建設事務所

〒108-0075 東京都港区港南三丁目9番56号

TEL : 03 - 3471 - 0444 FAX : 03 - 3471 - 0727



古紙配合率100%再生紙を使用しています